

## 公立中高一貫校の問題に慣れるまで何度も解いて対策

東京都立白鷗高等学校・附属中学校

合格

### 合格者インタビュー

伊勢さん

#### 合格までの軌跡

小学校の頃からがんばっていた英語の教育に力を入れていること、フランス語や中国語など第二外国語も学べることに魅力を感じ、東京都立白鷗高等学校・附属中学校を目指しました。父の友人からよい塾と聞き、小学4年生から入塾したのが明利学舎です。少人数の塾なので、授業で一人にかけてくれる時間が長く、その分、宿題が少ないことがよかったです。算数が苦手でしたが、問題を「何度もやりこむ」という指導を受け、公立中高一貫校の問題に慣れることができました。英語と新体操を習っていましたが、5年生からは塾に集中しました。模試の成績には波がありましたが、点数が下がって落ち込んだ時、両親が「結果は結果だから次につなげよう」と言ってくれたことは励みになりうれしかったです。最後には模試の点数も伸び、合格した時は、志望した中学に通える喜びでいっぱい。メリハリよく勉強して受験を乗り切りました。



#### 後輩のみなさんへメッセージをお願いします。

どんなに一生懸命に勉強しても、模試の成績がまったく上がらないことがあります。点数として結果が出なくても、勉強してきたことは決して無駄にはなりません。最後まであきらめずに、こつこつと勉強を続けてください。

狭き門の公立中高一貫校も相性を見極め、全員合格を目指す

塾長

鈴木 明男先生

明利学舎ではこの5年で3度、公立中高一貫受検クラス生は全員合格、また2024年度も継続し高いレベル校の『私立中学校適性型併願入試』も全員合格を達成し、通常の私立中学入試だけでなく、適性検査型入試にも実績があります。入塾時のテストでは適性検査との相性を見極め、保護者への詳細な報告書を作成し、入塾を判断します。伊勢さんは学校の成績がよく、公立に必要な内申は問題ないものの暗記や数学の思考問題が苦手。ただ記述が得意で、適性検査Iで武器となると判断しました。不得手な適性検査II対策では、過去問で取捨選択のスキルを磨くことに。公立志願者の中では最後まで心配な生徒でしたが、塾の指導にしっかりついてきて合格を勝ち取りました。本塾では単元テストで9割とれない生徒は指名自習とし、生徒の抱える課題を放置しません。プロ講師がお子様合った戦略を立て、同時に人間性をも育み、ともに合格を目指します。



## 明利学舎 公立中高一貫受験クラス(小5・6)

合格者多数  
輩出の  
秘訣

POINT



注目! 受験対策を超えた  
「自ら学び深く知る力」の練成

注目! 少人数制の  
質の高い授業と時間数の多さ

明利学舎中学受験  
YouTubeチャンネル



明利学舎HP



2024年クラス生

全員合格!(2年連続・5年間で3度目)

